一誌一句（受贈誌６・７月号他より）

米田　透　抄出

かき氷カキーンと脳天逆落し　（加里場）　井上　論天

ランドセルにいくつもの傷卒業す　（あかざ）　池田恵美子

縄文の手触り麻の貫頭衣　（　麻　）　嶋田　麻紀

顔パスの利かぬ世となり荷風の忌　（春　月）　戸恒　東人

クレヨンのみどり飛びだし風薫る　（星　座）　植野　順聞

曇りても川面かがやく復活祭　（　沖　）　能村　研三

遺伝子に宿る生命や銀河濃し　（春　嶺）　古澤　宜友

花の空鳩など飛んで平和なのか　（菜の花）　伊藤　政美

甲斐國原八方に鳴く雨蛙　（郭　公）　井上　康明

しづしづと月下にシテの歩みかな　（諷　詠）　和田　華凛